

第4学年3組 国語科学習指導案

1 単元名

話し合って決めよう

2 単元目標

- 考えとそれを支える理由や事例の関係について理解することができる。〔知識及び技能〕(2) ア
- 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。〔思考力・判断力・表現力等〕A(1) エ
- 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。〔思考力・判断力・表現力等〕A(1) オ
- 学習の見通しをもって、進んで司会などの役割を果たしながら話し合い、考えをまとめようとしている。〔学びに向かう力、人間性等〕

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○考えとそれを支える理由や事例の関係について理解している。((2) ア)	○必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。(A(1)エ) ○目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)	○学習の見通しをもって、進んで司会などの役割を果たしながら話し合い、考えをまとめようとしている。

4 単元について

(1) 本単元で行う言語活動と扱う学習材について

本単元では、「A話すこと・聞くこと」の言語活動例「ウ 互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動」を具体化し、よりよい話し合いの仕方について考え、役割を意識しながら学級全体で話し合って考えをまとめる言語活動を行う。

学級全体で話し合って考えをまとめる活動を通し、意見を交流する中でよりよい話し合いの経験を児童に得てもらいたいと考え、言語活動に設定した。日頃、学級全体で話し合う様子を観察していると、話したい内容のある児童が考えを述べ、周りの児童はそれを聞くことはできている。ただ、そこから友達の考えと自分の考えを比べたり合わせたりして、新しい考えを形成できる児童は少ない。そこで、学級全体の話し合いから考えをまとめる過程を丁寧に行うことで、聞いたことをもとに自分の考えを明確にしたり、広げたりできるようにする。

本単元は、役割を果たしながら、議題についての考えを話し合い、一つの考えにまとめていく学習である。役割として、司会、記録係、時間係、提案者や参加者があり、自分の分担を選んで決め

る。司会は、話し合いで出た意見を整理し、意見がまとまるように進めていく。記録係は、話し合いの要点を黒板に書いて可視化する。時計係は、話し合いが進行計画通りに進むように司会に助言する。提案者は、議題について提案を行う。参加者は、提案に対して質問したり意見を伝えたりする。どの役割になったとしても、自ら分担を決めることで、話し合いに対して意欲と責任感をもてるようにする。

また、議題は児童にとって興味深く、結論が明確なものとする。なぜなら、児童が話し合いに進んで参加したくなるようにするためである。加えて、結論が明確に出ることで、話し合いによって考えがまとまった実感を得やすい。以上を踏まえ、議題を以下に表す。

	議題	設定理由
①（第5時）	「リクエスト給食のメニュー」	クラスで給食メニューを一つ決めるという明確なゴールがある。クラスで人気か、全校にすすめるかの二つの観点（児童には「えらぶポイント」と説明）から話し合う。 例）・私も鶏の照り焼きは好きですが、リクエストしなくても出ると思います。どうしてリクエストしたいのですか。 ・カレーはみんな好きだという理由が出ました。みんな好きなら全校にすすめしなくてもよいでしょう。どうですか。
②（第7時、本時）	「ハロウィンレクの遊び」	ハロウィンのレクリレーションの遊びとして、皆が楽しめるか、ハロウィンらしさを感じられる工夫があるかの二つの観点から話し合う。 例）・ドッジボールは一部の人だけが楽しんでいます。皆で楽しめるための工夫はありますか。 ・鬼ごっこに賛成ですが、どうすればハロウィンらしくなるでしょう。

本単元の話合いの進め方や役割は、教科書教材「学級みんなで決めるには」をモデルとしている。学級全体での話し合いの様子を丁寧に読み合わせることを通して、児童が進め方と役割を確認できるようにする。

（2）本単元で身に付けさせたい力

本単元は、小学校学習指導要領第3学年及び4学年の思考力・判断力・表現力等〔A話すこと・聞くこと〕における指導事項（1）「エ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つこと。」及び「オ 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。」を受けて設定している。

学級全体で話し合って考えをまとめる言語活動を通して、役割を果たしながら話し合い、友達の意見と比べて意見を伝えたり、質問したりして、考えをまとめる力を身に付けさせたい。

特に、話の中心を捉えたうえで自分の意見を伝える力の育成に力を入れたい。本単元の話合いには議題があり、学級として何らかの結論を出すことになる。意見の一致に至るためには、自分の言

いたいことだけを言うのではなく、話し手の伝えたいことを捉えたうえで自分の意見を伝えることが大切だと考える。他者の意見に理解を示し、わからないところを質問したり自分の意見を伝えたりすることで、結論を出すための、観点に沿った話し合いができる。よりよい話し合いをすることで結論に向かうことを学級全体で共有し、話の中心を捉えたうえで自分の意見を伝えたいという意欲を高めたい。

(3) (1) と (2) の基盤となる言語環境や継続的な取組

①話し合いの流れの可視化

後述する児童の実態には、話し合いに消極的になってしまう理由として「いま何を話しているのかわからなくなるから」とあった。これは話し合いを苦手とする原因の一つであると考え。掲示物「話し合いの進め方」によって、学級全体で話し合いがどこまで進んでいるのかを確認できるようにすることで、話し合いに積極的に参加しやすくする。

②朝の会の「聞くことのトレーニングタイム」の導入

話の中心を捉えて自分の意見を伝えたり質問したりする力をつけるための手立てとして、「聞くことのトレーニングタイム」を導入する。光村図書「小学校国語 四下」144, 145 頁 収録の「聞くことのトレーニング」を参照し、ペアや3人グループで話し手の話を聞いたうえで自分の意見や感想を伝えたり質問したりする活動を行う。聞き手の児童は意見や感想を伝えたり質問したりしようとする中で、話し手の児童の話を漏らさず聞き、伝えたいことの中心をとらえることができるようになる。

5 児童の実態

(実態を受けて) 掲示物「話し合いの進め方」で流れを視覚化する。話し合いの進み具合が一目でわかるようにすることで、児童が混乱せずに話し合いに参加できるようにする。必要に応じて、少人数での話し合いを入れていき、多くの児童が話せるようにする。

伝えたいことの中心を捉えることは、話し手の意見を理解するうえで欠かせない。「聞くことのトレーニングタイム」によって、話し手の話の中心を捉えて自分の意見を伝えたり質問したりするための土台を作りたい。「聞くことのトレーニングタイム」では、話し手が話したくなる聞き手の態度の定着と、聞き手が話し手の話に対して質問したり意見したりすることのよさの共通認識を図りたい。話を聞いていないように見える児童が質問する例があるように、話し手にどう思われているかに無頓着な場合、顔を話し手に向けていなくても話の中心を捉えて質問することはできる。しかし、話し手からすると、話を受け入れてもらえたという実感を得にくいから、学級全体で話し合って考えをまとめたという達成感も得にくい。そこで、話し合いでお互いに話を受け入れられるためにも、話し手が話しやすい聞き方を身に付けさせる。また、聞き手が話し手に質問したり意見を伝えたりする活動を通して、考えを広げたり他者と意見の交流を図れたりするよさを学級で共有する。

本単元を通して、児童の「学級で話し合う」活動への苦手意識を低くし、積極的に参加できるような主体的に学ぶ姿勢を身に付けさせたい。

6 単元の指導計画（全7時間扱い）

次	時	主な学習活動		○指導や支援の手立て ◇評価（方法）
一	1	○話し合い活動を行うという学習の見通しをもつ。 ○学習計画を立てる。		朝の会での「聞くことのトレーニングタイム」 ○これまでの話し合い活動を振り返って課題を確認してから、教師による話し合いの様子を映した映像を視聴することで、児童がよい話し合いをできるようにしたいという意欲がもてるようにする。 ◇よりよい話し合いにしようとする意欲をもち、学習計画を立てている。 【主】（ノート）
	2	○話し合いの目的と必要な役割を確認する。		
二	3	○役割を決めて、話し合いの準備をする。		○司会と記録は話し合いの進め方を確認し、児童主体で話し合いを進められるようにする。 ◇議題に対する自分の考えと理由を明確にし、話すことを選んでいる。 【知・技】（ワークシート）
		役割	準備	
		司会 +時計 3人	「話し合いの進め方」に沿って台本を書く。	
		記録 3人	どうすれば見やすいか 黒板への書き方を考える。	
		提案 3～5人	提案するメニューと納得 できるような理由を考える。	
		参加	メニューと理由を考える。	
		※司会と記録の準備を終えた場合、議題について意見をもつ活動に移る。		
4	議題「リクエスト給食のメニュー」 ○教科書教材や映像で話し合いの進め方を確認する。 ○リクエスト給食のメニューを決めるために話し合う。		○進め方や役割ごとの動きについて助言することで、児童が話し合いの進め方を理解し、目的を意識して話し合いをできるようにする。 ○1人1台タブレットPC（ギガタブ）で児童の話し合いを撮影することで、児童が話し合いの後に自己評価できるようにする。 ◇議題への結論を出すために、話の中心を捉えたうえで自分の意見を持っている。 【思・判・表】（観察、ワークシート）	

二	5	○学級で一つの考えにまとめていくためにできたことや気を付けたいことを振り返る。 ○次時で話し合う議題について、役割ごとに準備する。	朝の会での「聞くことのトレーニング」	○振り返る視点を伝え、効果的に振り返りできるようにする。 ○次の話合いの役割に応じた準備を進められているか確認と助言をして、児童が用意を整えて話合いに参加できるようにする。 ◇議題に対する自分の考えと理由を明確にし、話すことを選んでいる。 【知・技】（ワークシート）
三	6 本時	議題「ハロウィンレクの遊び」 ○前回の振り返りをいかし、ハロウィンレクの遊びを決めるために話し合う。	「聞くことのトレーニング」	○課題と目的を学級で共有することで、よりよい話合いに向けて取り組めるようにする。 ○1人1台タブレット PC（ギガタブ）で児童の話合いを撮影することで、児童が自己評価できるようにする。 ◇議題への結論を出すために、話の中心を捉えたうえで自分の意見を持っている。 【思・判・表】（観察、ワークシート）
	7	○単元の学習を振り返る。		○動画を見たり、学級で話し合ったりして、よかったところと課題を自己評価することで、児童がこれからの話合い活動に生かしていきたいことを振り返られるようにする。 ◇話合い活動のよかったことや、次の話合いで気を付けたいことを振り返っている。 【主】（発言・ノート）

7 本時の学習（6／7時間）

（1）ねらい

○必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。（思考・判断・表現）

（2）展開

時間	主な学習活動と内容	○指導や支援の手立て ◇評価
5	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 ・話し合って、レクの遊びを皆が納得できるものにしたいな。 ・みんなの提案を聞きながら、自分の意見も伝えたい。	○1回目の話合いのよかったところと課題を取り上げ、よりよい話合いにしていこうという意欲を高め、課題を意識して話し合えるようにする。
	ハロウィンレクの遊びについて話し合おう。	
3 2	2 議題について話し合う。 ・司会 出てきた提案には、「えらぶポイント」に出たハロウィン感がなさそうです。班で話し合うときには、どうすればハロウィン感を出せるかについても話し合ってみてください。 ・記録 みんなが見やすいように、話の大切な部分を選んで書こう。 ・提案 ドッジボールがいいと思います。理由はみんな楽しめるからです。 ・参加 ドッジボールは一部の人だけが楽しんでいます。皆で楽しめるための工夫はありますか。 ・参加 鬼ごっこに賛成ですが、どうすればハロウィンらしくなるでしょう。	○話合いが目的からぶれないように、役割に応じた助言をする。 ○「えらぶポイント」を決めかねている場合には、議題の目的に沿うものを考えるように助言する。 ○発言しかねている児童には、ワークシートの内容を認め、発言を後押しする。 ○多くの児童が発言したり質問したりする機会を作るために、班で話し合う時間を設ける。 ○何をしているかわからなくなっている児童には「話合いの進め方」を一緒に確認して、参加できるようにする。 ◇議題への結論を出すために、話の中心を捉えたうえで自分の意見を持っている。 【思・判・表現】（観察、ワークシート）
5	3 本時の学習を振り返る。 ○話合い活動を振り返り、課題を踏まえて取り組めたか、友達のよかったところはあるかななどを班で話し合い、学級で発表する。 ・意見を出し合ったから納得できたな。	○学級全体として前回の話合いよりもよくなっていたところを、児童の発表を介して称賛する。 ○課題を踏まえて参加できていたかを自己評価できるようにするために、次時で録画した児童の話合いを見ることを伝える。

3	・これからも話し合いでは質問したい。 4 次時の見通しをもつ。	○撮影した動画を確認して、単元の振り返りをすることを伝える。
---	---	---------------------------------------

8 板書計画

3 2 ハロウィン感があるか。 1 みんなで楽しめるか。 ◎えらぶポイント	・ ・ ・ ◎ハロウィンレクのでいいん ・ ドッジボール：みんなで楽しめる。 ・ おにごっこ：たくさん体を動かせる。	ハロウィンレクの遊びについて話し合おう。	話し合って決めよう
---	--	-----------------------------	------------------

9 座席図



【話合いの進め方】

進行		参加者がいしきすること	時間の目安
⑦	進行計画		
⑦	まとめる。	クラスで決まったことは大切にしよう。	2分
⑥	どれにするか考える。	どのていあんがクラスのためになるかポイントをもとに考えよう。	5分
⑤	しつ問・意見を出す。	わからないことをしつ問したり、ていあんをよりよくするための意見を出したりしよう。	5分
④	はんで話し合う。	ていあんについて、ポイントにそった話合いをしよう。	5分
③	えらぶポイントを考える。	目的にそったポイントを考えるようにしよう。	5分
②	ていあんで出し合う。	ていあんをよく聞いて、自分の意見とくらべよう。	8分
①	議題をたしかめる。	何を話すのか、たしかめよう	2分

話し合って決めよう

年 組 名前 (

議題

目的

えらぶポイント

自分の役割(○で囲もう)・・・じゅんびすること
司会+時計・・・台本を書く。

記録……………友達の意見をまとめて、かじょう書きする練習をする。

ていあん……………みんながなっとくするようにていあんとその理由を考える。

参加……………自分なりの意見とその理由を考える。
